

名演奏家シリーズ 2016



ライナー・キュツヒル ヴァイオリン・リサイタル

ステファン・
シュトロイスニク
(ピアノ)



11/16 (水) 18:45開演

1971年以来、ウィーン・フィルの名コンマスとして45年。その大任を果たした名ヴァイオリニスト、キュツヒルが奏でる極上の音色

三井住友海上しらかわホール

S席¥5,500 A席¥4,500

(全席指定・税込)

Pコード 299-329 Lコード 43440

●Program (予定)

ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ第5番「春」
ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ第1番「雨の歌」
ほか

藤木大地&福田進一 デュオ・リサイタル ～カウンターテナーとギターによる“音の旅”～

12/1 (木) 18:45開演

ウィーン国立歌劇場デビュー決定!
世界の一流歌劇場で大活躍の注目のカウンターテナーと、クラシック・ギター界を牽引してきた国際的ギタリストによる歌とギターの魅惑の世界



電気文化会館
ザコンサートホール

¥4,800 (全席指定・税込)

Pコード 299-331
Lコード 43441

●Program (予定)

ヘンデル:歌劇《セルセ》より「オンブラ・マイ・フ」
シューベルト:《冬の旅》より「春の夢」
タレガ:ヴェルディ《椿姫》による幻想曲(ギター・ソロ)

梁田貞(寺嶋陸也編):城ヶ島の雨 弘田龍太郎(寺嶋陸也編):叱られて
武満徹:《SONGS》より、MI YO TA / 3月のうた / 小さな空
武満徹 編曲:「ガーシュイン:サマータイム / フェイン:シークレット・ラヴ / アーレン:虹の彼方に」
(ギター・ソロ) ほか



大同特殊鋼 創業100周年記念

チョ・ソンジン ピアノ・リサイタル



1/20 (金) 18:45開演

2015年ショパン国際ピアノ・コンクールで優勝!
卓越したテクニックと透明で美しい音色、溢れ出る音楽性で、今、もっとも注目を集めるピアニスト。コンクール後、名古屋で初のリサイタル実現!

愛知県芸術劇場コンサートホール

S席¥6,000 A席¥5,000 B席¥3,500

(全席指定・税込)

Pコード 299-335 Lコード 43442

●Program (予定)

ベルク:ピアノ・ソナタOp.1
シューベルト:ピアノ・ソナタ第19番
ショパン:24の前奏曲

一般発売 6月25日(土)

チケットのお取扱い

CBCラヴァースショップ ☎052-242-1181 芸文プレイガイド ☎052-972-0430
アイ・チケット ☎0570-00-5310 イープラス(11/16、1/20公演) eplus.jp
チケットぴあ ☎0570-02-9999 しらかわホール(11/16公演) ☎052-222-7117
ローソンチケット ☎0570-084-004 電気文化会館(12/1公演) ☎052-204-1133

※やむを得ない事情で公演内容、出演者など変更になる場合がございますのでご了承ください。
※未就学児のご入場は、ご同伴の場合でもお断りいたします。

お得な3公演通し券

◆アイ・チケット
(☎0570-00-5310)
合計16,300円→
14,000円

主催 CBCテレビ <http://hbc.com>
協賛 大同特殊鋼 www.daido.co.jp
共催 電気文化会館 (12/1公演のみ)
協力 クラシック名古屋
お問合せ CBCテレビ 事業部

☎(052)241-8118 (平日10時~18時)

ライナー・キュッヒル (ヴァイオリン)

Rainer Küchl

11歳よりヴァイオリンを始め、14歳にてウィーン国立音楽アカデミーに入学。1967年よりソロ活動を開始。ウィーン・フィルをはじめ、ウィーン響、ドレスデン国立歌劇場管弦楽団、NHK交響楽団等のオーケストラ、並びに指揮者ではアバド、ベーム、バンスタインらと共演。1971年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場管弦楽団のコンサートマスターに就任。同年ウィーン・フィルの仲間とキュッヒル弦楽四重奏団を結成。1982年ウィーン国立音楽アカデミー（現ウィーン国立音楽大学）教授に就任。1985年ザルツブルグ州知事より金功労勲章受章。1988年オーストリア共和国より学術、芸術に対するオーストリア名誉十字勲章受章。1995年ジュネーブにおける国連50周年記念式典および1998年長野冬季オリンピックにて世界代表コンサートマスターを務める。

2010年日本政府より旭日中綬章受章。

現在、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場管弦楽団、ホーフブルグカペレ、第一コンサートマスター。ウィーン国立音楽大学正教授。キュッヒル弦楽四重奏団、ウィーン・リングアンサンブルリーダー。その他、ソロ活動、審査員などを務める。

今年8月末、45年間務めたウィーン・フィルのコンマスの職を引退することが決まっている。



©Winnie Küchl

藤木大地 (カウンターテナー)

Daichi Fujiki

2012年、日本音楽コンクール声楽部門第1位。権威ある同コンクールにおいて、史上初めてカウンターテナーが優勝したことは、大きな話題となった。2013年にボローニャ歌劇場にグルック《クレリアの勝利》マンニオ役に抜擢されてデビュー。2017年4月にはライマン「メディア」（2010年ウィーン国立歌劇場初演）ヘロルド役で日本人カウンターテナーとして初めてウィーン国立歌劇場にデビューすることが発表されるなど、国際的な活動を展開する、現在最も注目を集めるアーティストのひとりである。

2002年東京藝術大学卒業。2011年に歌手活動をカウンターテナーに転向。同年ローマ国際宗教音楽コンクールのファイナリスト。2012年、第31回国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクールにてオーストリア代表として2年連続で選出され、世界大会でファイナリストとなり、ハンス・ガボア賞を受賞した。2016年は1月に行われたNHKニューイヤーオペラコンサートに3年連続出演、7月には兵庫県立芸術文化センターで行われるプリテン「夏の夜の夢」（佐渡裕氏指揮）に主演が決定するなど活躍の場を広げている。

第19回松方ホール音楽賞受賞。第25回青山音楽賞青山賞授賞。宮崎県出身。ウィーン在住。



©K.Miura

福田進一 (ギター)

Shin-ichi Fukuda

大阪生まれ。11才より故 斎藤達也に師事。1977年に渡欧、アルベルト・ボンセ、オスカー・ギリアに師事した後、1981年パリ国際ギターコンクールでグランプリ優勝、さらに内外で輝かしい賞歴を重ねた。以後35年、ソロ・リサイタル、主要オーケストラとの協演、超一流ソリストとの共演など、福田の国際的な演奏活動はとどまることを知らない。近年の特筆すべき演奏活動として、キューバの巨匠レオ・ブローウェルから協奏曲「コンチェルト・ダ・レクイエム」を献上され、2011年秋のブラジルのサンパウロ交響楽団との南米初演ツアーは大成功を収めた。

教育活動にも力を注ぎ、その門下から鈴木大介、村池佳織、大萩康司ら、ギター界の実力派スターたちを輩出。それに続く若手たちにも強い影響を与えている。

平成19年度外務大臣表彰。さらに平成23年度芸術選奨・文部科学大臣賞。

現在は、世界各国の音楽大学でマスタークラスを持ち、上海音楽院（中国）、大阪音楽大学、広島エリザベト音楽大学、昭和音楽大学において客員教授を務めている。



チョ・ソンジン (ピアノ)

Seong-Jin CHO

チョ・ソンジンは、2015年10月に行われた第17回ショパン国際ピアノ・コンクールで優勝、ポロネーズ賞も同時受賞し、国際的な脚光を浴びる。コンクールの模様はインターネットを通じて世界中に配信され、卓越したテクニックと透明で美しい音色、身体中から溢れ出る音楽性が聴く人の心を打ち、若き世代で最も卓越したピアニストの一人として、高く評価されている。

1994年ソウル生まれ。2008年モスクワで行われた「青少年のためのショパン国際ピアノ・コンクール」で1位受賞。2009年第7回浜松国際ピアノ・コンクールでは15歳で最年少優勝を果たし、同時に日本人作品最優秀演奏賞、札幌市長賞も受賞。2011年に17歳でチャイコフスキー国際コンクール第3位、2014年ルービンシュタイン国際ピアノ・コンクール第3位に入賞している。

これまでに、チョン・ミョンフン、ロリン・マゼール、ワレリー・ゲルギエフ、ミハイル・プレトニョフ、マレク・ヤノフスキ、ウラジーミル・アシュケナージなどの著名指揮者の指揮の下、ミュンヘン・フィル、フィルハーモニア管、ロイヤル・コンサートヘボウ管、チェコ・フィルなど世界一流のオーケストラと共演。世界各地でのリサイタルに加え、2017年2月にはカーネギー・ホールでのリサイタル・デビューも決定している。

パリ在住。今までにS.R.パク、S.J.シン、パリ高等音楽院でミシェル・ベロフに師事している。



©Ramistudio.com